



平成 16 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社レーサムリサーチ
代 表 者 名 代表取締役社長 田 中 剛
コ ー ド 番 号 8890 店頭登録銘柄
問 合 せ 先 経 理 部 長 前 田 嘉 也
電 話 03 (5326) 3706

サンマリーナホテル(株)の株式取得に関するお知らせ

当社100%出資子会社株式会社グランドオーシャンホテルズは、平成16年3月30日付で、下記の通りサンマリーナホテル株式会社の株式を譲り受けることに合意しましたので、お知らせいたします。

記

1 . 特定子会社となる会社の概要

商号	サンマリーナホテル株式会社
所在地	沖縄県国頭郡恩納村字富着66番地1
代表者の氏名	代表取締役社長 田阪 武夫
設立年月日	平成14年3月12日
事業の内容	ホテル業
決算期	12月31日
従業員数	115名(平成15年12月31日現在)
資本の額	10百万円(平成15年12月31日現在)
売上高	2,073百万円(平成15年12月期実績)
営業損失	17百万円(平成15年12月期実績)
経常損失	31百万円(平成15年12月期実績)
当期純損失	40百万円(平成15年12月期実績)

2 . 異動の前後における当社子会社の所有に係る子会社の議決権の総数及び議決権の総数に対する割合

	(異動前)	(異動後)
当社子会社所有議決権数	0 個	200 個
(当社子会社所有株式数)	0 株	200 株)
議決権の総数	200 個	200 個
(発行済株式総数)	200 株	200 株)
議決権の総数に対する割合	0 %	100 %
(発行済株式総数に対する割合)	0 %	100 %)

3 . 異動の内容及びその年月日

内容	株式会社スルガコーポレーションから200株 (発行済株式総数の100%)を譲り受ける予定であります。
異動年月日	平成16年3月30日(予定)

4 . 譲受金額

株式譲受金額	525百万円
--------	--------

5 . 異動の目的

当社グループは、より多様な資産において、直接運営を行うことができる運営能力の向上を図り、ファイナンス事業においては担保評価能力、不良債権においては債権の評価能力及び回収能力の向上、また資産運用事業では資産の品揃えの多様化と地域的な広がり大きく寄与しております。

これらの一連の流れとして、当社では、平成15年7月に当社100%子会社である有限会社アセットホールディングスにおいて民事再生に伴うスポンサーとしてプレスカントリークラブ(群馬県安中市)のゴルフ場の経営関与を開始し、平成15年11月には株式会社グランドオーシャンホテルズ(注1:沖縄県那覇市)の全株式を取得しホテル運営業務を開始しております。

そしてこの度、当社グループの中でシナジー効果を発揮させながら業務のより一層の拡大のため、株式会社スルガコーポレーションから同社が保有するサンマリーナホテル株式会社(注2:沖縄県国頭郡恩納村)の全株式を株式会社グランドオーシャンホテルズが取得することになります。

当社グループのホテル運営業務は、様々な改善により既存のホテルの潜在的価値を引き出し、バリューアップを図るもので、今後も当業務を積極的に展開してまいります。

なお、平成16年4月には株式会社グランドオーシャンホテルズの100%子会社である有限会社札幌ホールディングスにおいてハミルトンホテル(北海道札幌市)の資産を取得する予定であります。

注1:株式会社グランドオーシャンホテルズの概要

株式会社グランドオーシャンホテルズはグランドオーシャンホテル(沖縄県那覇市久米2丁目1番5号)の運営を行っております。代表取締役会長には株式会社レーサムリサーチ取締役マーチャントバンキング部長の樋口耕太郎が、取締役社長にはザ・ブセナテラスビーチリゾートの初代総支配人(元職)の岡庭正治が就任しております。

~グランドオーシャンホテルの概要~

グランドオーシャンホテルは、那覇市の中心地に位置するラグジュアリーホテルであり、閉館されていた旧オーシャンビューホテル(ANAホテルズ運営)を全面改修した後、本年よりオープンしております。

175室の客室、レストラン、ロビーは、ノスタルジックな雰囲気の中にデザイン性を盛り込んだユニークなインテリアを特徴とし、スパ、各種エステ、クラブルーム等における多様なサービスで、ビジネスエグゼクティブ、観光客等をお迎えしております。

注2：サンマリーナホテル株式会社の概要

サンマリーナホテル株式会社は、サンマリーナホテル（沖縄県国頭郡恩納村字富着66番地1）の所有・運営を行っております。

～サンマリーナホテルの概要～

サンマリーナホテルは、昭和62年4月開業のビーチリゾートホテルであり、沖縄本島西海岸沿いに点在するリゾートホテル群の中心に位置します。全室オーシャンビューの200室の客室、和洋中とバラエティに富んだ料飲施設、全ての年齢層が楽しめるマリンレジャー施設、マリーナを備えております。

レーサムリサーチグループでは、ソフト・ハード両面の改善により、沖縄におけるナンバーワンリゾートホテルを目指します。

6．今後の業績に与える影響

この度の株式の譲り受けにより、サンマリーナホテル株式会社は当社の連結対象子会社となります。

なお、平成16年4月1日より同社の損益計算書項目の連結を開始するため、売上高、営業利益及び経常利益などの業績指標について相当額の影響があると考えておりますが、収益等が具体的にどのように計上されるのか現時点において予想しがたいところがあり、今後、収益の内容及び進展につきましては、遅滞なくお知らせ申し上げます。

7．役員の変動

サンマリーナホテル株式会社は、平成16年3月30日付で下記の通り代表者の異動を行う予定であります。

新任代表取締役会長 樋口 耕太郎（現 株式会社レーサムリサーチ取締役マーチャン
トバンキング部長）

新任取締役社長 岡庭 正治（現 株式会社グランドオーシャンホテルズ取締役）

新任取締役 都筑 直隆（現 株式会社レーサムリサーチ取締役）

なお、代表取締役社長の田阪武夫氏は平成16年3月30日付で退任の予定であります。

以上